

港区立

西麻布保育園



50周年 記念誌

令和3年10月1日

もくじ

区長あいさつ	3
麻布地区総合支所長あいさつ	4
園長あいさつ	5
歴代園長あいさつ	6
嘱託医あいさつ	8
卒園児あいさつ	9
保育理念・方針・目標	10
園の概要	11
園舎紹介	12
保育園の歴史	14
50 周年作品集	16
お散歩マップ	18
西麻布保育園 園歌	19



西麻布保育園の開園 50周年を祝して



港区長 武井 雅昭

港区立西麻布保育園の開園50周年、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

西麻布保育園は、保育園の増設を望む切実な声に応えて、昭和46年10月5日に開園いたしました。平成26年には、園舎を改築し、定員を拡大して待機児童解消にも寄与いたしました。

開園以来、半世紀の長きに亘り、本園を支えてこられた歴代の園長先生をはじめ、保育士の皆様、保護者の皆様や、地域の皆様方には、園児たちの健やかな成長と笑顔あふれる社会の実現のため、力を尽くして来られました。心から感謝申し上げます。

お蔭をもちまして、多くの園児たちが、元気にのびのびと様々なことを学び経験し、たくましく思いやりのある豊かな心を育み、何事にも意欲的に取り組むことができる子どもに成長しております。そして、西麻布保育園を卒園した862人の方々も、社会の幅広い分野で活躍しておられます。

本区では、核家族化の進行や地域のつながりの希薄化など家庭を取り巻く環境が大きく変化しております。その中でも次代を担う子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、大きな夢と希望を持って健やかに成長できるよう全力で取り組んでまいります。

関係者の皆様には、開園50周年を契機として、「子どもたちが人として尊ばれ、愛護され、心身共に豊かな育ちが保障される保育園」という港区保育理念に基づき、安心して子育てができる環境づくりのために、尚一層のご尽力を頂きますよう、お願い申し上げます。

港区立西麻布保育園の今後益々の発展と、関係者の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。





港区立西麻布保育園 開園 50 周年に寄せて



麻布地区総合支所長

富田 慎二

西麻布保育園の開園 50 周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

昭和 46 年 10 月にスタートしました西麻布保育園は、かねてから麻布地区において保育を必要とする地域の皆様のご要望を受け、それまで保育園が整備されていなかった西麻布の地に、区立で 9 番目の保育園として設立されました。昭和 56 年 12 月には、港区立保育園では初めての単独の園舎へ移転しました。この園舎は、交通量の多い道路に面しており、騒音、排気ガスの影響を避ける為、2 重窓や冷暖房を完備した施設として関係者の間で大きな話題となりました。

地域の皆様が、子どもたちの健やかな育ちを見守り、支えてくださる優しさは、地域ぐるみで支えあう地域社会づくりにつながっております。50 年という永い年月を経た今でも昔と変わらずに地域で子育てを支える皆さんの温かさは、保育園はもちろん、麻布地区総合支所としてもたいへん心強いものです。改めて、保育園運営にご理解とご協力を頂いておりますこと、感謝申し上げます。また、私事ですが、平成 8 年に長男が西麻布保育園に入園して、当時の先生方に、大変お世話になりました。

近年、子どもや家庭を取り巻く環境は変化しており、保育園は、地域の子育て拠点として担う役割と機能をこれまで以上に発展させていくことが必要と考えております。

保育園は、子どもにとっては、集団生活の第一歩となるひとつのコミュニティであり、また、子育てをする人、保護者にとっては、子育てを通じて地域とつながる地域コミュニティのきっかけの場になるのではないのでしょうか。

未来に向かって一人ひとりの子どもが持っている力を十分に発揮できるよう、保育環境をさらに向上させていくと共に、保育園や子育てへのニーズに対して良質な保育サービスが提供できるよう、保育施策・子育て支援施策の充実に全力で取り組んでまいります。

今後とも、子どもたちの笑顔が輝き、誰もが安全に安心して子育てできる環境を実現するため、地域で支えあう関係づくりに皆さんのより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

西麻布保育園が地域から愛され、地域に根差した保育園として発展するよう努めると共に、関係者の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。





港区立西麻布保育園 開園 50 周年を迎えて



園長 小玉 直美

西麻布保育園は、昭和 46 年に開園して半世紀(50 周年)を迎えました。
今日に至るまで保護者の皆様、地域の皆様そして関係機関の皆様方のご支援や諸先輩
方の愛情に支えられ、この記念すべき日を迎えられたことを心より感謝いたします。

西麻布保育園は、港区立 9 番目の公立保育園として創立しました。平成 12 年、集中
豪雨により床上浸水という大惨事に見舞われた際には卒園児、保護者関係者の方々が
駆け付け夜中近くまで復旧作業をして下さったというエピソードを聞き涙がでました。翌
日には平常保育を行うことが出来たのは、協力して頂いた方々のお力そのものです。時
に人力は災害にまで打ち勝つ事が出来るという証明をここで私は教わりました。

平成 26 年には、新園舎が開園し 5 階建ての複合施設になりました。地域の方々と行
事を通して関わる経験をすることで社会性を培い、色々な方々との広い繋がりを深めて
きました。

昨年从今年にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式を
余儀なくされています。職員は安心・安全を第一に、毎日数回の消毒・換気をして保育に
あたっています。

そしてこのような状況の中でも、・朝から元気に遊べる子ども ・たくましい心 生活力
のある子ども ・自分も友だちも大切に出来る子ども という園目標のもと、子どもたち
が笑顔でいられるよう、最善の利益を基盤とした工夫を行っています。

西麻布保育園がこれからも保護者の皆様と一緒に、未来を生きる子どもたち一人ひとり
を支え心豊かに育つよう、また地域に根ざした保育園であるよう、職員一同さらに取り
組みをすすめていきます。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



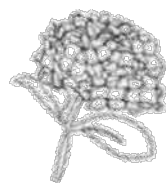
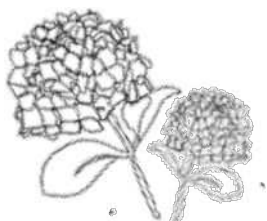


開園 50 周年 祝辞

第 9 代園長 山海 千鶴子

西麻布保育園 50 周年おめでとうございます。私が西麻布保育園に園長として在職したのは、平成 20 年 4 月～25 年 3 月までの 5 年間でした。着任当時は旧園舎で古さや暗さはありませんでしたが、床材に一枚板を使用する等、当時としては最高の建材を利用しており、昭和の趣を感じるどっしりとした建物に居心地の良さが溢れる保育園でした。在職時に園舎の建て替えの話が持ち上がり、現在の新園舎の基本計画や設計に携わりました。職員との話し合いを重ねた事、保護者説明会では、保護者の皆様の西麻布保育園を良い環境にしたいという熱意あるご意見が多々あったこと等を思い出します。その後、保護者の方々のご理解ご協力を得ながら通称三角公園内の仮園舎に引っ越し、そこでの生活を 1 年間体験しました。園庭はありませんでしたが広い屋上があり、プール遊びを行ったり、数十年に一度の金環日食を観測したり楽しく過ごすことができました。色々なことが走馬灯のように巡ってきますが、忘れられない出来事の一つとして平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災です。経験したことが無い大きな揺れにどうなるのか？と心配になりましたが、職員の避難誘導が的確に行われ子どもたちも不安にならなかったのは、日頃の訓練の賜物と痛感しました。保護者の方々からの「だいじょうぶでしたか？」「守っていただきありがとうございました」の声、近所の方が「水使ってください」と提供して下さるなど、西麻布の住民の皆様の温かさを実感し、西麻布保育園で本当に良かった！！と心より思った瞬間です。楽しい思い出では、青山公園での親子運動会があります。広い公園を使って 0 歳児から 5 歳児まで大きな家族のごとく触れ合い遊びを楽しんだり、年長リレーを応援したり皆で盛り上がりました。保育では子どもたちの発達をしっかり捉えながら取り組んでいる『リズム運動』、現在も継続発展している職員の保育力に逞しさを感じます。

コロナ禍ではありますが、今後も西麻布保育園の築いてきた保護者や地域住民の皆様との絆を大切に、未来ある子どもたちの心の基盤になる温かな保育をこれからも期待しております。西麻布保育園の益々の発展を願っております。





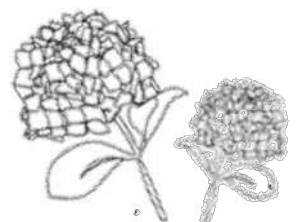
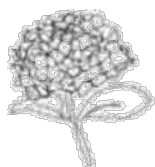
開園 50 周年 祝辞

第 11 代園長 中村 享子

私が西麻布保育園に勤務したのは新園舎になって 2 年目の平成 28 年度から 5 年間、お世話になりました。新園舎になった保育園は、自動ドアや暗証番号での開閉となると、進化していることか！と驚いたものです。玄関も明るく広く、園庭には防音壁があり、高速道路もみえる、都会の保育園なんだと港区に長年勤務していましたが、改めて感じました。都会の中の保育園というイメージが強いですが、周りには公園や青山墓地、国立新美術館があり春には桜、夏にはたくさんのセミの声、秋になると、まつぼっくりにどんぐり、自然に恵まれた環境でした。青山公園は毎日のように子どもたちが遊びに行きました。ヘリコプターの離発着もあり子どもたちと大騒ぎして見たものでした。そのヘリポートに某大統領がやってきたときは西麻布保育園 2 階のランチルームから、ヘリポートに向かう車列がよく見えるので子どもたちと見物したものでした。運動会は、筈小学校をお借りして名前もオータムフェスティバルと銘打ち、みんなで体を動かして楽しもう！と先生たちと計画したことが懐かしいです。しかし雨に泣かされてしまいました（自分が参加できなかった運動会は晴天でしたが…）

保育園だけでなく複合施設のいきいきプラザ全館でのお楽しみや、消防訓練などたくさんの方々と触れ合わせていただきました。途中で自分が体調を崩し入院という事態もありましたが、復帰したときは子どもたちも保護者の方々も心配と喜びの声をたくさんかけていただき、とてもありがたかったです。

そして！現在も戦っています！新型コロナウイルス感染症。日々の遊びや生活が、がらりと変わりました。できることができなくなり苦しい思いもしました。しかし子どもたちは変わらず明るく元気！保護者の皆様も一緒に頑張りましょう！と苦しい中たくさんのご協力をしていただきました。何より職員が毎日、消毒に換気にと追われながらも日々の遊びを考えどう楽しく過ごしていくか、どうやったら行事ができるのかを考えてくれました。西麻布保育園の素敵なパワーを感じました！東京の港区、都会の真ん中にある保育園ですが、自然に囲まれた、子どもたちの笑い声が聞こえる心温かい素敵な保育園です！50 周年本当に！おめでとうございます！



開園 50 周年 祝辞

内科嘱託医 吉田 浩之



西麻布保育園 50 周年を迎えられましたこと誠におめでとうございます。

園児 1 人 1 人が楽しく、健やかに成長するため、歴代の園長はじめ、職員の皆様のご努力に心から敬服いたします。

私も、健診を通してお手伝いさせていただいておりますが、子どもたちの成長の速さには、驚かされたり、うれしく思うことが多々あります。0 歳児は、そっと聴診器を体に当てただけでも元気な泣き声を聞かせてくれますが、1 歳児クラスに進む頃には皆が静かに診察を受けてくれるようになります。言葉も発達してきた子どもたちが“こんにちは”“吉田先生”と駆け寄ってきたり、話しかけてきてくれたりすると“何ちゃんだったかな”と思いだしながら成長が微笑ましく感じます。

またある時、卒園児に道で声を掛けられ手をつなぎながら小学校の話聞かせてくれたこともありました。在園中に挨拶の仕方や、温かく人と接する心がしっかりと育まれているのでしょう。乳幼児の頃の可愛い面影を残しつつも、凛とした眼差しには逞しさも感じました。

次世代を担う子どもたちが、人類で初めて感染する病にも打ち勝ち、激変する社会の中にあっても活躍できるように、家族の皆様とともに力を合わせていかなければなりません。

西麻布保育園の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。



歯科嘱託医 菅 眞一



西麻布保育園 50 周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

昭和 61 年 10 月全国にさきがけ港区で初めて保育園歯科嘱託医が設置されました。今ではあたり前になりましたが当時は小児歯科学会でも注目されました。私も西麻布保育園での活動を学会でも発表した事もありました。

歯科嘱託医が設置されてからですからもう随分長くなりました。平成 28 年には西麻布保育園の推薦で港区の保育園歯科医として初めて区政功労者として表彰を受けました。旧園舎は古くなり新築の為にしばらく移転していた時期もありましたが建物が変わっても、園長や職員、園児が変わっても西麻布保育園の誇りや伝統がこれからも次の世代の人達にずっと引きつがれていく事を心より祈念致しております。



開園 50 周年 祝辞



在園児保護者 酒井雅美
(第15回卒園児)

開園 50 周年おめでとうございます。

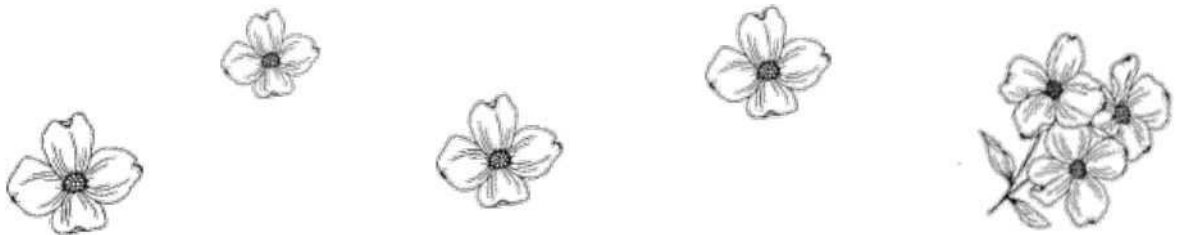
西麻布保育園を卒園して数十年後、まさかこの 50 周年という節目に、園児の保護者としてまたご縁をいただいたこと、とても嬉しく思っています。

私が通っていた頃は、一年中半袖短パンが当たり前だったと母からよく聞かされました。私が風邪もひかず元気な体に育ったのは、きっとそのおかげと思い、子どもたちにもその習慣を引き継ぎ、おかげさまで家族全員元気に過ごせています。

園舎こそ新しく変わりましたが、立地もそのまま、青山公園への散歩やばいなっふる組で毎年クラス T シャツを製作する慣習は変わりなく、おかげさまで子ども達 4 人全員のばいなっふる T シャツが揃いそうで楽しみにしています。

子どもの頃は、同級生とママ友、パパ友として再会できるなんて想像もしていませんでしたが、それが叶うのも西麻布保育園のすごいところです。

変化が多い街のなか、これからも子ども達を包み込む温かい場所として、孫の代まで末永く続いていくことを心から願っています。



保育理念

子どもたちが人として尊ばれ、愛護され、
心身ともに豊かな育ちが保障される保育園

保育方針

1. 子どもたちが安心し、一人ひとりが主体的に生活できる環境を保障する
2. 保護者と共に成長を喜び合い、共育でしていく
3. 地域における子育て支援の基地として様々な情報を発信していく
4. 専門性を生かし、保育の質を高め充実させていく

保育目標

1. 朝から元気に遊べる子ども
2. たくましい心、生活力のある子ども
3. 自分も友だちも大切に出来る子ども

西麻布保育園 概要

施設

<住所>106-0031
東京都港区西麻布
2丁目13-3

<電話> 03-3409-4924

<敷地> 敷地全体 1580.4 m²
うち園庭 415.49 m²

<園舎> 構造 RC 構造
延べ面積 1556.11 m²

主な施設内容

乳児室	1室
保育室	5室
遊戯室(ホール)	1室
調理室	1室
トイレ	3室
洗濯室	1室
教材室	2室
職員休養室	1室
事務室	1室

入所児童定員

年齢	組名	児童定員
0歳	もも組	15名
1歳	めろん組	22名
2歳	さくらんぼ組	24名
3歳	くり組	24名
4歳	りんご組	24名
5歳	ばいナップ組	24名

定員 計133名

職員の職種及び定数

園長	1名
保育士(副園長を含む)	22名
看護師	1名
保育員	9名
栄養士・調理員(委託)	5名
清掃・用務(委託)	3名

令和3年10月現在

園舎紹介

1 階

エントランス



園庭



めろん組(1歳児室)

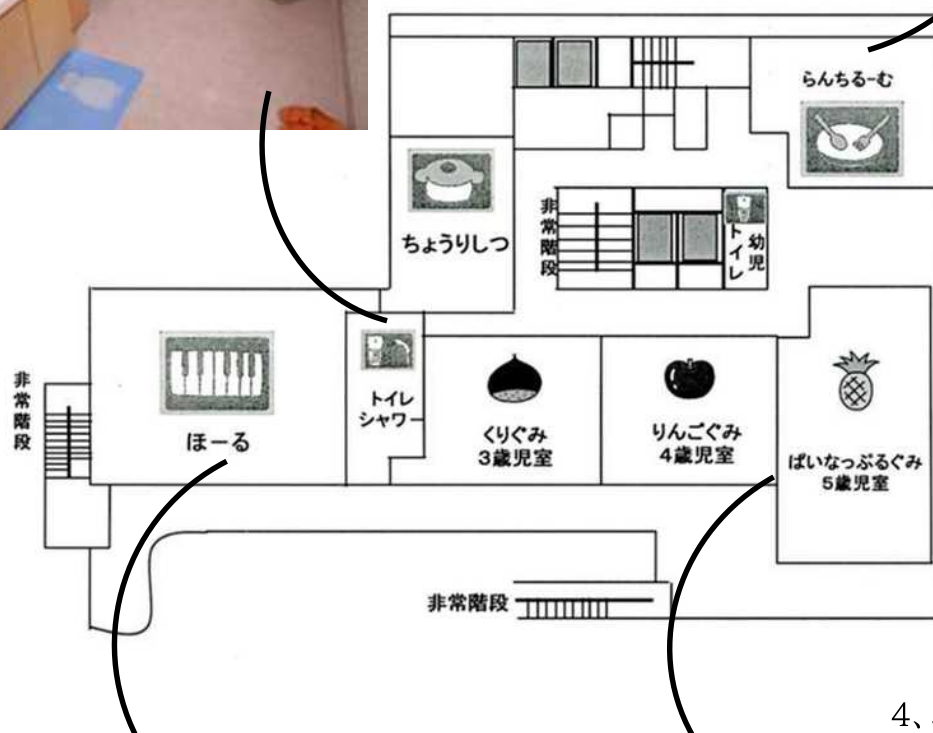


2階

2F ランチルーム



2F トイレ



ホール



4、5歳児室



西麻布保育園の歴史

- ・7月
港区立9番目の保育園として創立
- ・10月5日
港区立西麻布保育園 開園



旧園舎 鉄筋コンクリート造 5階建(児童館・保母寮併設)
保育園 1、2階部分 延 744.08 m²

昭和56年

- ・新園舎が落成し、12月1日移転
港区立保育園では初めての単独園舎として設立
 - *交通量の多い道路に面していたことから、騒音、排気ガスの影響を避けるため、区立保育園として初の2重窓、冷暖房を完備し、当時の関係者の間で大きな話題となる

- ・集中豪雨により17cm床上浸水
保育課、保育園職員、保護者、卒園児保護者が駆け付け、夜中近くまで復旧作業を行い、翌日は平常保育を行うことができる



旧園舎 鉄筋コンクリート造 2階建
(地下1階、地上3階建) 延 1319.38 m²

昭和46年

- ・マクドナルド日本第1号店が
銀座にオープン
- ・アメリカのフロリダ州に
ウォルト・ディズニー・
ワールドリゾートが開園

- ・チャールズ英皇太子と
ダイアナ妃が結婚
- ・沖縄本島の与那覇岳で
ヤンバルクイナが発見される

平成12年

- ・新紙幣2千円札発行



- ・園児定員を増やす
- ・創立 30 周年を記念して 園歌「ほいくえんだいすき」制作
作詞:ばいなっふる組 園児
作曲:中島由美子(当時5歳児担任)

平成22年

- ・待機児童解消のための定員数拡大、西麻布福祉会館及び西麻布児童館建物の老朽化が進み、耐震性に問題があるため、保育園を含む一体的な複合施設として整備する計画が具体化される

- ・筈児童遊園(西麻布2丁目1番2号) 仮施設へ移動

- ・新園舎開園



園舎 RC 構造
(いきいきプラザ、子どもふれあいルーム等併設)
保育園 1、2階部分 延 1556.11 m²

- ・園児定員を増やす

～児童定数～

年度 \ 年令	0才	1才	2才	3才	4才	5才	合計
昭和 46 年度 ～昭和 56 年度	9	12	12	20	32		85
昭和 57 年度 ～平成 13 年度 8 月	10	13	17	20	20	20	100
平成 13 年 9 月 ～平成 26 年度 10 月	10	15	17	20	20	20	102
平成 26 年度 11 月 ～平成 29 年度	15	20	22	24	24	24	129
平成 30 年度～	15	22	24	24	24	24	133

令和3年

- ・10月1日
港区立西麻布保育園 創立 50 周年

平成13年

- ・東京ディズニーシー開園
- ・アメリカ同時多発テロ事件発生

- ・小惑星探査機『はやぶさ』が
7年ぶりに帰還

平成24年

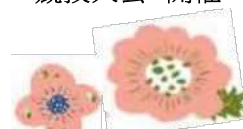
- ・東京スカイツリーがオープン
- ・山中伸弥(京都大学)教授が
ノーベル生理学・医学賞受賞

- ・富岡製糸場、絹産業遺産群が
世界遺産に決定
- ・長野、岐阜県堺の御嶽山が噴火
- ・4月1日より消費税率が
5%→8%に引き上げ

平成30年

- ・テニスの大坂なおみが
全米オープンで日本人初優勝

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック
競技大会 開催



50周年 作品集



50周年のひのき

あきる野から頂いた樹齢50年の
ひのきの間伐材を使用して作りました。



カウントダウン

保育園のお誕生日の日までのカウント
ダウンは、年長児が中心に作り、毎日めくっ
てくれました。



園旗

保育園の園旗は“にしあざぶぞう”が
モチーフになっています。



装飾

年長児があきる野から頂いたひのきに
マーブリングで自由に色付けをしました。



幸せの樹

保護者の方々からの 素敵な
“未来の子どもたちへのメッセージ”
です。



子どものつぶやき

保育の中で、子どもたちの声に耳をかた
むけ、出会ったエピソードを集めました。



お散歩マップ

「ここは、わたしたちのまちだ！」そんな、お散歩時のつぶやきをもとに、
ぱいなっふるの子どもたちと保育士と一緒に作りました。



西麻布保育園 園歌

「ほいくえんだいすき！」

作詞・作曲 平成13年度 ばいなっぶるぐみ

The musical score is written for piano and voice. It consists of six staves. The lyrics are written below the notes. The melody is simple and repetitive, suitable for young children. The lyrics are in Japanese and describe various activities and feelings of the children.

1, すなばであそぶの だいすき
げんきにはしるの だいすき
サッカー てつぼう おりがみだって
ひこうき とばせるよ
いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい
いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい
みんなと あそぶの すきだから
にしあざぶほいくえん だいすき

2, グラタン カレーライス だいすき
にんじん きゅうりも だいすき
セロリは ちょっぴり にがてだけど
ひとつは たべるんだ
いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい
いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい
みんなと いっしょが すきだから
にしあざぶほいくえん だいすき

